

本日12/12 (木) より
チケット発売開始!

金沢 21 世紀美術館 ステージ・イベント



小池博史ブリッジプロジェクト 共同制作
「銀河鉄道 -Milky Way Train-」

宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」をモチーフに、今を語る物語。

演出家小池博史が、宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を原作に据えながら、3.11後の私たちが向かうべき課題としてオリジナル舞台作品「銀河鉄道」を再構築。

「からだのこえをきく」ことを通して世界との関係をもう一度みなおし、弱く、滑稽で、愚かで、強く、しなやかで、美しいヒトという生きものを描き出す物語。

能楽、バレエ、演劇、パーカッションとハーモニカの生演奏、また美術と衣装は全て紙で製作するなど、あらゆるジャンルのスペシャリストが舞台に集結します。どうぞお見逃しなく!

※ 貴媒体にて事前告知、及び本番の取材をお願いいたします。
※ 取材をご希望の方は、お手数ですが必ず事前にご連絡ください。

<取材申込み/問い合わせ先>
金沢21世紀美術館
広報担当: 中山 (広報室)
事業担当: 黒田、門田 (交流課)
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<http://www.kanazawa21.jp>
E-mail: press@kanazawa21.jp

★開催概要 「銀河鉄道」公式サイト <http://kikh.com/ginga>

【公演タイトル】小池博史ブリッジプロジェクト<小池博史meets宮沢賢治>シリーズ第2弾

共同制作「銀河鉄道 -Milky Way Train-」

【日時】2014年2月8日(土) 18:00開演(17:30開場)

2014年2月9日(日) 14:00開演(13:30開場)

* 両日とも公演終了後アフタートークあり

* 上演予定時間は約70分(休憩なし)

【会場】金沢21世紀美術館 シアター21

【料金】(全席自由) 一般 前売り3,000円/当日3,500円

大学生以下 前売り2,000円/当日2,500円

※友の会会員特典 美術館での購入に限り1割引(会員証提示)

※入場時、友の会会員証、学生証の提示をお願いします。

【チケット取り扱い】 *2013年12月12日(木)よりチケット発売開始!

金沢21世紀美術館 ミュージアムショップ TEL 076-236-6072

ローソンチケット (Lコード:59569) TEL:0570-000-777

【主催】金沢21世紀美術館 [(公財)金沢芸術創造財団]

【制作協力】株式会社サイ

【助成】財団法人地域創造、平成25年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

【協力】流山市生涯学習センター指定管理者アクティオ株式会社、南城市、

南城市文化のまちづくり事業実行委員会、公益財団法人仙台市市民文化事業団

【お問い合わせ】金沢21世紀美術館交流課 TEL 076-220-2811

【キャスト・スタッフ】

出演・振付:津村禮次郎、白井さち子、小尻健太、南波冴、松尾望、石原夏実、谷口界

演奏:ヒダノ修一(太鼓・パーカッション)、八木のぶお(ハーモニカ)

原作:宮沢賢治(「銀河鉄道の夜」より)

演出・脚本・振付:小池博史

舞台美術:トラフ建築設計事務所(鈴野浩一・禿真哉)

作曲:藤井健介 ヒダノ修一

衣装:浜井弘治

照明:富山貴之

小道具:森聖一郎

メイク:村上ユウ(hairmake bads)

音響:深澤秀一

衣装アシスタント:岡田三千代

演出助手:松縄春香・石原夏実

舞台監督:中原和樹

舞台監督助手:鈴木拓・瀬戸元哲

宣伝美術:阿部航太

プロデュース:山内祥子

制作:粟津梨恵 佐藤文子 吉澤由子

★小池博史 Hiroshi KOIKE



©Minsa YOU

1月25日生まれ。茨城県日立市出身。一橋大学卒業。TVディレクターを経て82年パフォーミングアーツグループ『パパ・タラフマラ』を設立。以降、全55作品の作・演出・振付を手掛ける。パパ・タラフマラ以外での演出作品も多数。演劇・舞踊・美術等のジャンルを超えた、強くオリジナリティ溢れる作品群は、35ヶ国以上で上演され、国際的に高い評価を確立。各国アーティストとの作品制作やプロデュース作品の制作、公演、プロ対象・市民対象のワークショップを数多く実施。97~04年つくば舞台芸術監督、アジア舞台芸術家フォーラム委員長、04~11年国際交流基金特定寄付金審議委員などを歴任。2012年パパ・タラフマラ解散後、「小池博史ブリッジプロジェクト」を設立。小池博史公式サイト <http://kikh.com>

「銀河鉄道」に寄せて

ずっと昔からできるだけ遠くに行きたいと思ってきました。遠くとはどこなのかよくわからないままに……。年とともにわかってきたのは、遠くはぼくたちの外側だけではなく、内側にも潜んでいるということ。見えるけど見えない、見えないけど見える、でもなにか光のようなもの。それを今回は形にしたいと思います。素敵な光の粒子をとらえながら。（小池博史）

生と死のあいだを標榜する物語の舞台。その舞台上で起きていることが、どちらの世界であるかは分からないし、どちらでもない方が物語の本質なのかもしれないと思い、紙による抽象化された中立の世界を目指しています。中立でありながらも、両方の世界を少しずつ触んでいるような強さも併せ持った空間になれば良いと思っています。（トラフ建築設計事務所）

日本の伝統芸術は、無意識の領域間でのコミュニケーションを至上のものとしてきた。日本の至宝、津村禮次郎、ヒダノ修一と連星になって、小池博史の作品がどのような変光を私達に投げ掛けてくるのか、期待で胸を躍らせている。（中村明一／尺八奏者）

★ 作品について

小池博史meets宮沢賢治シリーズ第2弾

本作は、2012年5月に、日本の舞台芸術を30年間牽引した自身の舞台芸術カンパニー「パパ・タラフマラ」を解散した演出家・小池博史が、新たに立ち上げた“小池博史ブリッジプロジェクト”の一つ、「小池博史meets宮沢賢治シリーズ」第2弾として「注文の多い料理店」に次ぐ新作として制作。共同制作作品として全国5都市で上演される。

<全国ツアー公演日程>

流山（千葉）	流山市文化会館	2014年1月25日
南城（沖縄）	南城市文化センターシュガーホール	2014年2月1日
仙台（宮城）	日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）	2014年2月15日
池袋（東京）	あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）	2014年3月12日～16日

* “小池博史ブリッジプロジェクト”では、舞台芸術作品の創作をはじめ、映像・写真・インスタレーション・文章などあらゆるメディアを活用した多角的な発信を行い、イベントや講演会、ワークショップ、教育プログラムの実施など、“からだを使って考える”事が出来る人材の育成も図っている。

あらゆるジャンルのスペシャリストが集結

今回の舞台化に向け、重要無形文化財保持者の能楽師・津村禮次郎、元ネザerland・ダンス・シアターダンサーの小尻健太、元パパ・タラフマラメインパフォーマー白井さち子、演奏ではヒダノ修一（パーカッション）、八木のぶお（ハーモニカ）などあらゆるジャンルのスペシャリストが集結。

美術も衣装も小道具も全部紙！

舞台美術は 2009 年にグッドデザイン賞を受賞した、トラフ建築設計事務所が担当。小池博史作品へはパパ・タラフマラの「パンク・ドンキホーテ」に続き 2 作目の参加となる。衣装は元イッセイミヤケコレクションデザイナーで過去パパ・タラフマラの作品で注目を浴び、大駱駝艦、野田秀樹、白石晃、オンケンセンの「リア王」などの衣装をてがけた浜井弘治が担当。舞台美術、衣装など、舞台上の全てを紙で構築してゆく。

“からだ”を使って考える

舞台公演だけでなく、今作に関連したワークショップやトーク、シンポジウムも全国規模で展開。金沢 21 世紀美術館でも、今年 7 月に関連企画として、あらゆる動きを日常のスピードの 1/100 以下のスピードへと変換する「スロームーブメント」という手法による、自身の“からだ”への気づきを深くしていく作品創作ワークショップを開催した。「からだ」を通して人間の生について再考することもテーマの一つになっている。